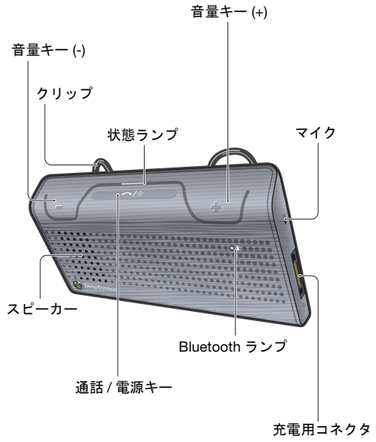
Sony Ericsson

User guide

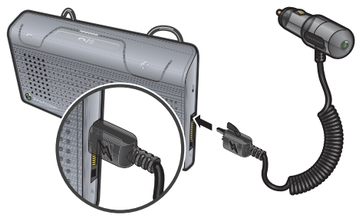
日本語

HCB-108

1



2



Declaration of conformity for HCB-108

We, **Sony Ericsson Mobile Communications AB** of
Nya Vattentornet
SE-221 88 Lund, Sweden
declare under our sole responsibility that our product

Sony Ericsson type DEA-0002007

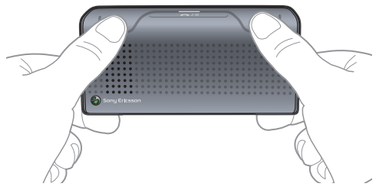
and in combination with our accessories, to which this declaration relates is in conformity with the appropriate standards EN 300 328:V1.7.1, EN 301 489-17:V1.2.1, EN 301 489-7:V1.3.1 and EN 60 950-1:2006 following the provisions of Radio Equipment and Telecommunication Equipment directive **99/5/EC**.
Lund, June 2008

CE 0682

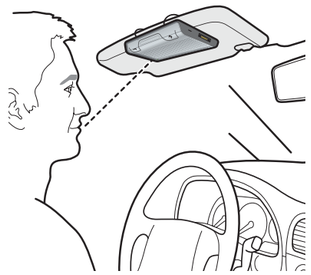
Jacob Sten, Head of Product Business Unit Accessories

この製品は、R&TTE 条項（99/5/EC）の要件に適合しています。

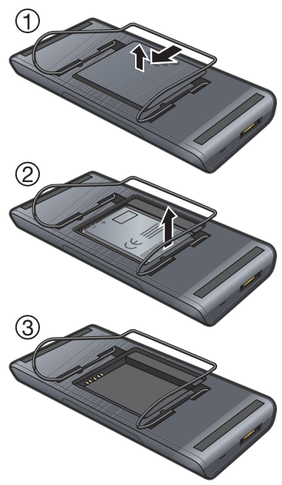
3



4



5



FCC statement for the USA
This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
Any change or modification not expressly approved by Sony Ericsson may void the user's authority to operate the equipment. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Industry Canada Statement
This device complies with RSS-210 of Industry Canada. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device. This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003. Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

日本語

Bluetooth™ Car Speakerphone HCB-108 は、設置が簡単なワイヤレススピーカーフォンです。サンバイザーに取り付けて、HCB-108 は車内ハンズフリー機能を実現できます。この取扱説明書は、Sony Ericsson 携帯電話との使用を想定しています。

充電

HCB-108 を充電するには

HCB-108 を初めて使用する前に、付属の充電器を使用して、10 時間または赤の状態ランプが緑に点灯するまで充電してください。図 2 を参照してください。

認証

HCB-108 を携帯電話で使用する前に、携帯電話との認証が必要です。携帯電話の取扱説明書に記載されている Bluetooth の手順に従ってください。

注 : *HCB-108 は、初めて電源を入れるか、設定リセット後に認証モードをオンにします。*

HCB-108 と携帯電話を認証するには

1. **本体側の操作 :** Bluetooth 機能をオンにします。
2. **本体側の操作 :** Bluetooth 公開をオンにします。これで、携帯電話はその他の Bluetooth 機器で確認できるようになります。
3. **本体側の操作 :** 携帯電話を HCB-108 との通信距離内（10 メートル、33 フィート）に配置します。
4. **HCB-108:** HCB-108 が認証モードの場合、Bluetooth 充電ランプが青くフラッシュし、音が鳴ります。HCB-108 が認証モードでない場合、[−] および [+] を同時に 2 秒間押し続けて、認証モードを手動でオンにする必要があります。図 3 を参照してください。
5. **本体側の操作 :** 新しい Bluetooth 機器の追加方法については、携帯電話の取扱説明書に記載されている手順に従います。HCB-108 のパスコードは 0000 です。
6. **HCB-108:** 携帯電話が認証および接続されると、Bluetooth 充電ランプが青く点灯し、音が鳴ります。

注 : *HCB-108 では、一度に 1 つだけ携帯電話を認証できます。別の携帯電話が認証されると、前の認証情報は失われます。HCB-108 では、携帯電話との認証が完了しない場合は、10 分後に認証モードがオフになります。*

車内に設置

車内に HCB-108 を設置するには

- サンバイザーに HCB-108 を取り付けます。図 4 を参照してください。

オンとオフ

HCB-108 と携帯電話を認証したら、HCB-108 をオンにして、携帯電話との通信距離内（10 メートル、33 フィート）に近づけると、自動的に携帯電話に接続されます。HCB-108 が携帯電話に接続されると、Bluetooth 充電ランプが青く点灯します。

オンにするには HCB-108

- [ ] を 2 秒間押し続けます。音が鳴り、状態ランプが緑に点灯します。

オフにするには HCB-108

- [ ] を 2 秒間押し続けます。音が鳴り、HCB-108 がオフになります。

通話

HCB-108 と携帯電話の認証を終えたら、HCB-108 をオンにし、障害物で遮られていない状態で携帯電話との通信範囲内にある間、HCB-108 を使用して電話の受発信が可能です。

電話をかけるには

- 通常どおりにダイヤルします。通話は HCB-108 で自動的に開始されます。

電話を切るには

- [ ] を押します。

通話を受けるには

- [ ] を押します。

通話を拒否するには

- [ ] を 2 秒間押し続けます。

再ダイヤルするには

- [ ] を 2 回押します。

マイクをオフにするには

- [−] と [+] を同時に押します。マイクがオフになると、状態ランプが点滅します。マイクを再びオンにするには、同じ操作を繰り返します。

音声ダイヤルを使用した通話

この機能は、携帯電話により異なります。携帯電話が音声ダイヤルをサポートし、この機能が有効である場合は、ダイヤル発信をする前に、HCB-108 上でもこの機能を開始することが必要です。

HCB-108 で音声ダイヤルを開始するには

- 携帯電話で音声ダイヤルが有効であることを確認して、[ ] を押します。

音声ダイヤルについて詳しくは、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

2 つ目の通話の受信

通話中に着信がきた場合は、話中音が自動的に発信者に送られます。

音声の転送

音声を携帯電話から HCB-108 に転送するには

- 携帯電話で通話中に、HCB-108 に音声を転送するには、[ ] を押します。

音声を HCB-108 から携帯電話に転送するには

- 携帯電話の取扱説明書を参照してください。

音量調整

着信の音量を調整するには

- 通話中でないときに、[−] または [+] を押します。

通話の音量を調整するには

- 通話中に、[−] または [+] を押します。

リセット

HCB-108 をリセットするには、ハードウェアリセットまたは設定リセットの 2 通りの方法があります。HCB-108 が予期しない動作をする場合は、ハードウェアリセットおよび設定リセットを実行して HCB-108 設定をリセットする必要があります。

ハードウェアリセットを実行するには

- [ ] を 8 ～ 10 秒間押します。HCB-108 はオフになります。

設定リセットを実行するには

1. HCB-108 をオンにします。
2. [−] および [+] を同時に 2 秒間押し続けます。Bluetooth 充電ランプが青くフラッシュし、音が鳴ります。図 3 を参照してください。
3. [ ] および [+] を同時に 2 秒間押し続けます。音が鳴り、HCB-108 はオフになり、出荷時の既定の設定にリセットされます。
4. HCB-108 と携帯電話を再認証します。

トラブルシューティング

携帯電話に接続できない

- HCB-108 が充電されていることと、携帯電話との通信距離内（10 メートル、33 フィート）に配置されていることを確認してください。
- 携帯電話で、Bluetooth 設定を確認するか、やり直します。
- 認証手順を繰り返します。

HCB-108 が自動的にオフになる

- HCB-108 をオンにします。認証された携帯電話が通信距離外である場合は 10 分後にオフになります。
- 電池を充電してください。電池の充電が必要な場合、状態ランプが赤に点灯し、音が鳴ります。

電池の交換

1. ふたと電池を取り外します。図 5 を参照してください。
2. 電池とふたを再度挿入します。

Sony Ericsson Mobile Communications AB
SE-221 88 Lund, Sweden

1215-1481.2
Printed in Country

This is the Internet version of the User guide. © Print only for private use.